

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 久米島特産品販路開拓事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ウ		
	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化		事業実施(予定)年度		平成25~27年度		
担当部署名	産業振興課		沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(4)		
事業内容	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	0	44,575			
		(b)予算現額	0	44,575			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)前年度繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		0	44,575			
	B.執行済額		0	37,600			
	うち交付金充当額		0	30,080			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	84.4%			
予算の状況の説明		・不用額6,975千円が発生しているが、必要経費を見直したことによる委託料の減である ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度(2- )	27年度(2- )	
	・外部アドバイザーを設置し、商品の洗練化と差別化を図るとともに久米島在住のアドバイザーを育成する。		目標 ( )	(アドバイザー育成)	( )	( )	
			実績	アドバイザー育成(1名)			
・久米島商工会が実施する商品開発・販路拡大の支援		目標 ( )	(団体への支援)	( )	( )		
		実績	久米島商工会への支援				
達成状況説明		・外部アドバイザーを設置し、食品・流通関係専門家を招聘し、事業所に対する新商品開発・改善改良及び販路開拓等の支援を行った。 ・商品開発のノウハウや手法についての実習等、久米島のモノ作り、販売を担える、久米島在住のアドバイザーの育成に取り組んだ。 ・久米島統一ブランドのパッケージ開発した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度(2- )	目標値(27年度)
	・食品製造業者の育成及び指導(10社)		目標 ( )	( )	(10社)	( )	
			実績		10社		
	・久米島在住のアドバイザーの育成(1名)		目標 ( )	( )	(1名)	( )	
			実績		1名		
	・商品開発・販路拡大の支援(7件)		目標 ( )	( )	(7件)	( )	
			実績		11件		
	【参考指標】 ・久米島印販売額		目標 ( )	( )	( )	(4,200千円)	5,100千円
			実績			3,284千円	
	【参考指標】 ・改良商品販売額		目標 ( )	( )	( )	(2,600千円)	2,700千円
		実績			1,990千円		
進捗状況説明		久米島の製造業者10が参画して、統一規格・統一デザインの容器「沖縄久米島印」を開発した。「沖縄久米島印」は、久米島特産品としてのブランド力及び認知度が低い各社のパッケージを久米島統一ブランドとして確立し、販路拡大を目指す。内容は、純黒糖、みそピー＆ピー黒、塩ちんすこう、みそクッキー、紅芋スティック、球美の塩、泡盛25度、粉末シモン茶、飲みやすくなったノニジュース、青パイヤ酢などの10品目を販売した。 統一ブランド商品「沖縄久米島印」は、商品コンセプトやネーミング、デザインの評価は高く、県内外の物産展や小売店舗での販売では一定の成果はあったが、流通業者(数社)に対する取引提案に対しては、不調に終わった。 久米島の製造業者8社が参画して、既存の久米島特産品のパッケージやデザインや容器等に改良を加えて商品に付加価値を加えて販売した。【完成商品：くるざーたー300g、くるざーたー180g、たんぷあくるー、久米島ちんすこう、黒糖クッキー、手作り加工黒糖詰め合わせ、久米島粉末シモン茶、飲みやすくなったノニジュース、ふじこおぼろの万能だれ、琉球泡盛久米島25度の10種類を改良】 既存の久米島特産品の改良改善商品は、商品によって多少のバラツキがあり販売目標はわずかに届かなかったものの概ね、改善前に比べて伸びていることから改良効果は認められる。(改善前:約52万 改善後:約199万円) 商品開発1件及び改良商品10件、合計11件の商品開発・改良し販路拡大に取り組んだ。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>商品開発について 久米島統一ブランド商品「沖縄久米島印」は、個人販売においては一定の売上はあったものの、パッケージの生産コストが高く、商品価格に反映されたことから期待したような売上に結びついていない。 「沖縄久米島印」封入商品の内容及び容量等が、既存の商品との差別化が図れず、パッケージデザインが好評の割には評価が得られなかった。</p> <p>販路拡大について 販路については、これまでの流通ルートで営業を行ったところ、既存の商品を熟知する業者に対し、価格や内容量等で商品価値に大きな差別化を打ち出せず販路の拡大に至らなかったことから、価格の見直しなどブラッシュアップを図り、流通業者に再度提案する。</p>	<p>商品開発について 「沖縄久米島印」パッケージ制作費の低減を図り、商品販売価格の値ごろ感を図ることで、販売向上に繋げる。 好評のパッケージデザインはそのまま、容器の素材や形状の見直しを行うことでコスト削減に取り組む。 消費者が「沖縄久米島印」と既存商品の内容及び価格を比較し、商品の特色と価値観の違いを打ち出せるよう、封入商品の内容についてもアドバイザーの助言を得ながらブラッシュアップを図る。 製造業者と商品の中身を再検証を行い、既存商品との差別化を図る。 商品価格に見合う容量や内容の改良を図るなど価値観を高める。 商品の特徴を分かりやすく解説し、購買意欲を高める為のリフレットの制作を行う。</p> <p>販路拡大について 各事業者が商品魅力をしっかり訴求することにより販売拡大と、既存の流通ルートを含め、新たに県内外の流通業者に対しても、商品魅力を訴求し販路の拡大を図る。 久米島町内において取引の無い店舗への販売拡大に取り組む。 沖縄本島での販路拡大はアンテナショップを拠点に販路拡大を図る。 県外での販路拡大は、東京都内に久米島アンテナショップを開設し、商品の魅力を広くアピールすることで個人消費者や小売店舗に訴求し販路拡大を図る。</p>

**今後の取り組み方針**

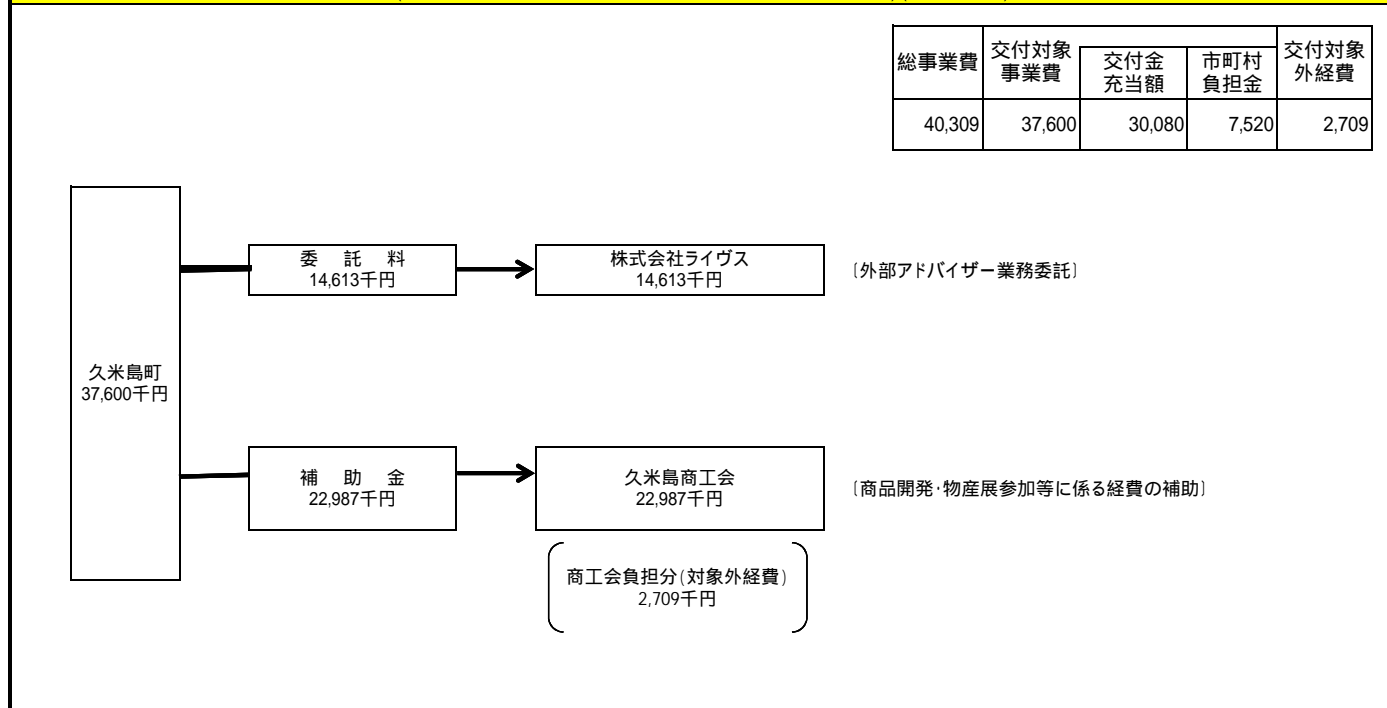
商品開発について(沖縄久米島印)  
アドバイザーの指導のもと、製造業者を訪問して商品の卸価格の再見積もりを行うと共に、商品の中身についても付加価値を高めるような取り組みを行う。現在使用している容器のコストが高いため、アドバイザーの指導のもと、現在のデザインを残したままで、新たな容器に切り替える(業者選定)ための取り組みを行う。

「沖縄久米島印」の特徴を生かし、個々の商品の販売を伸ばすためにセット販売や商品の特徴を明記したリフレットを作成し、販売促進に繋げる。  
アドバイザーや食品の専門家の指導のもと新たな価格設定を行う。

販路拡大及び販売拡大について(沖縄久米島印・改良改善商品・その他の久米島特産品)  
久米島町内での販売拡大については、久米島物産公社と連携して、ホテルやお土産店への提案を行う。  
県内での販売については、離島マルシェを活用して、店舗内での販売はもとより他の小売店に対しての卸の提案を行う。  
県外での販売については、東京の久米島アンテナショップを活用して店舗販売及び他の小売店舗への提案を行う。  
卸業者に対しては、久米島物産公社と連携して、全てのブラッシュアップが完了後再提案を行う。  
県内外での物産展及び商談会等への参加を支援して久米島の特産品の販路及び販売の拡大に繋げる。(県内3箇所・県外4箇所)

その他の取り組み  
製造業者及び販売業者を対象として、専門家を招いて定期的にセミナーを開催し、各事業所に於けるコストの削減や事業の効率化を図り、収益の増加に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者負担については商品開発等に必要経費について負担しており妥当であったと考えている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	